

平成 19 年度当初予算 施策別概要

4 1 2 大気環境の保全

(主担当部 : 環境森林部)

- 41201 地球温暖化防止の推進 (環境森林部)
- 41202 大気汚染物質削減の推進 (環境森林部)
- 41203 自動車環境対策の推進 (環境森林部)
- 41204 化学物質に起因する環境リスクの低減の推進 (環境森林部)
- 41205 大気環境の保全のための調査研究・試験検査の推進 (政策部科学技術振興センター)

< 施策の目的 >

(対象) 県民が

(意図) よりよい大気環境のもとで健康的な生活を営んでいる

< 施策の数値目標 >

施策目標 項 目 (主指標)	環境測定地点において環境基準を達成している地点の割合	目標値	1 0 0 %
		現状値	7 0 . 4 % (2005 年度)

県内の大気環境測定地点 (測定局) において、二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質のすべてが環境基準を達成している地点の割合 (環境森林部地球温暖化対策室調べ)

県の取組 目標項目 (副指標)	工場・事業場の排ガス排出基準適合率	目標値	1 0 0 %
		現状値	9 5 . 3 % (2005 年度)
	NO _x ・PM法の対策地域内に登録されている車両の基準適合車の割合	目標値	8 5 %
		現状値	4 5 . 6 % (2004 年度)

< 現状と課題 >

- ・ 地球温暖化の原因である温室効果ガスの大部分を占める二酸化炭素の排出量は、ここ数年減少傾向にありますが、国際的な基準年である 1990 年に比べると大きく増加しており、特に商業・サービス・事業所等の業務部門や家庭部門での増加が著しいことや、産業部門についても今後増加が見込まれることから、これまでも増して地球温暖化防止に対する取組を進めていく必要があります。
- ・ 工場等の発生源を原因とする大気環境は改善傾向にあるものの、北勢地域では自動車排出ガスの影響により幹線道路周辺では、なお厳しい状況が続いており、引き続き対策を講じる必要があります。
- ・ 有害化学物質が事業活動の中で環境中へ排出される量を的確に把握し、化学物質に起因する環境リスクを低減させるとともに、建物解体時等のアスベスト飛散防止対策が必要です。

< 平成 19 年度の施策の取組方向 >

地球温暖化防止対策については、平成 18 年度中に改定する「三重県地球温暖化対策推進計画」に基づく温室効果ガスの排出抑制対策を進めます。

このうち、産業部門や商業・サービス・事務所等の業務部門については、県内事業所の大半を占める中小企業の省エネルギー対策に取り組み、温室効果ガス排出抑制に配慮した事業活動の推進に努めます。また、家庭部門においては、地球温暖化防止活動推進員を活用した普及・啓発活動や、各種団体等のアイデアを生かした温暖化防止活動等を支援するなどにより、県民の地球温暖化防止の取組を促進します。

安全で安心な生活を確保するため、大気環境や工場等発生源の監視を実施するとともに、引き続き自動車排出ガス規制などの環境対策を進めます。

化学物質に起因する環境リスクを低減するため、事業者による化学物質の適正な管理や情報公開等の取組がなされるよう働きかけます。また、アスベスト飛散防止については、作業現場の立入検査や環境測定を実施することにより対策の徹底をはかります。

<主な事業>

(新)(舞)省CO₂に配慮した事業活動促進事業【基本事業名：41201 地球温暖化防止の推進】

当初予算額： - 千円 11,737千円

事業概要： 「地球温暖化対策計画書」の策定・提出を条例で義務付けている大規模事業所等の訪問調査を実施し、計画の進捗状況の確認、温暖化対策に関する情報提供・意見交換等を行うとともに、省エネ診断を実施することによって中小事業者の地球温暖化の取組を進め、産業、業務系における省CO₂に配慮した事業活動を促進します。

(舞)エコライフ普及啓発推進事業【基本事業名：41201 地球温暖化防止の推進】

当初予算額： 18,741千円 17,250千円

事業概要： 地球温暖化対策地域協議会やNPO等から普及・啓発のアイデアを募集し、その活動を支援するなど、多様な主体と連携して県民の地球温暖化防止の取組を促進します。

大気環境保全対策事業【基本事業名：41202 大気汚染物質削減の推進】

当初予算額： 14,857千円 13,115千円

事業概要： 工場事業所等への立入検査、光化学スモッグに関する緊急時の対策、有害大気汚染物質の調査等を実施します。

自動車NO_x等対策推進事業【基本事業名：41203 自動車環境対策の推進】

当初予算額： 17,480千円 11,482千円

事業概要： 自動車NO_x・PM法の対象地域における自動車窒素酸化物等総量削減計画の目標達成状況調査や自動車交通環境影響調査、天然ガス自動車購入への補助等を実施します。

ダイオキシン類等化学物質対策推進事業

【基本事業名：41204 化学物質に起因する環境リスクの低減の推進】

当初予算額： 22,085千円 15,469千円

事業概要： ダイオキシン類の発生源の検査や大気・水質等の汚染状況を調査します。

また、PRTR法対象事業所における化学物質の適正管理や情報公開等がなされるよう働きかけを行います。

(一部新)アスベスト飛散対策事業【基本事業名：41202 大気汚染物質削減の推進】

当初予算額： 12,344千円 20,826千円

事業概要： アスベスト除去現場への立入検査を実施し、周辺環境調査を行うと共に、一般環境におけるアスベスト濃度の調査を実施します。